



白河復興応援プロジェクト「白河六旗」 熱いエールで見る人に元気と勇気を

9月6日、市民会館（手代町）で、東日本大震災や原発事故からの復興にエールを送る「白河復興応援プロジェクト 白河六旗」(東京六大学応援団連盟小暮美季委員長)が開催されました。

各大学の応援団が繰り広げる力強さと華やかさを合わせ持った応援合戦に、ホールを埋めつくした約1,400人の観衆はたくさんの元気と勇気をもらいました。

また、前日には、市内各中学校の3年生約700人が招待され、生で見る応援団の勇姿に感動していました。



▲エールを送る早稲田大学応援団の皆さん(前列右が小暮委員長)

市町村対抗県軟式野球大会白河市チーム結団式 決意を新たに連覇を目指す

8月29日、市役所で「第8回市町村対抗福島県軟式野球大会」に出場する白河市チームの結団式が行われました。昨年の大会では接戦を勝ち抜き、見事に初優勝を果たした白河市チーム。主将の穂積英一さんは「一昨年は準優勝で、昨年は優勝することができました。今年は連覇を目指し、初戦から全力で勝ちにいきます」と話しました。

大会は9月13日に開幕、栄光の金獅子旗と知事杯を懸け、県内全59市町村が熱戦を繰り広げます。



▲結団式の様子(前列左が主将の穂積さん)

Street Corner Symphony 白河公演2014 「声」の楽器で観衆を魅了

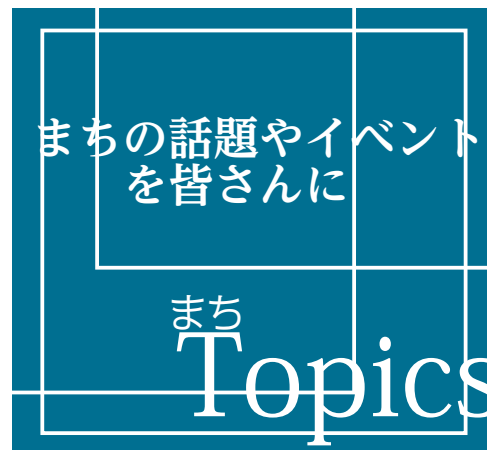
8月24日、市民会館（手代町）で、「早稲田大学 Street Corner Symphony アカペラ公演in白河2014」が開催されました。

「となりのトトロ」や「見上げてごらん夜の星を」などなじみのある曲がアカペラで披露され、約700人の観衆は声の楽器が奏でる演奏に魅了されていました。

また、前日には、市内の小・中学生を対象にした交流会が開かれ、参加した子どもたちは声の楽器にあわせ合唱するなど、楽しいひとときを過ごしました。



▲素晴らしいハーモニーで観衆を魅了



▲競技場をスタートするランナーたち

第19回しらかわ駅伝競走大会 過去最多1,971人のランナーがまちなかを駆け抜ける

9月21日、しらかわカタルズスポーツパーク陸上競技場（北中川原）をスタート・ゴールに、「第19回しらかわ駅伝競走大会」が開催されました。

過去最多の出場数となる195チーム、1,971人のランナーたちは、秋風の吹く中、沿道から多くの声援を受けながら健脚を競いました。競技の結果、高校の部男子は東北高校（宮城県）、女子は柏日体高校A（千葉県）が、一般の部男子は南陽市役所（山形県）、女子は郡山連合（福島県）が優勝しました。

また、競技にあわせ、まちなかでは「にぎわいイベント2014」や「しらかわ駅伝と歴史散策ツアー」が行われ、訪れた大勢の人は、駅伝観戦とともにイベントを楽しんでいました。



▲にぎわいイベントの様子

院展 内閣総理大臣賞受賞記念 今井珠泉展 今井画伯の代表作を一堂に公開

9月11日、集古苑（郭内）で「特別企画展 今井珠泉展」が開幕し、オープニングセレモニーが行われました。セレモニーでは、今井画伯が「年をとるにつれ物事が深く見えるようになりました。今後さらに精進します」とあいさつしました。続いて作品解説会が行われ、画伯が作品ごとの制作秘話を語ると、参加者たちは熱心に聞き入っていました。

なお、この特別企画展は、11月9日(日)まで開催されます。



▲受賞作「流水幻想」の制作秘話を語る今井画伯